

## (見本 2)

### 病歴・就労状況等申立書 (別紙)

#### 1. 日常生活状況 (補足)

##### (適切な食事)

- ・調理は簡単な物 (ラーメン、インスタントカレー程度) しかできない。
- ・包丁は安全に使えない。
- ・自分の好きな物や菓子類ばかり食べたがり、栄養のバランスを判断できない。
- ・好きな物は大量に食べ過ぎて、体調を壊すこともある。
- ・一人で外食はできない。
- ・指示されないと食事時間が不規則になる。

##### (身の清潔保持)

- ・指示されないと同じ服を何日も着ている。
- ・汚れていても自分から着替えることはない。
- ・服装の乱れに無頓着である。
- ・入浴は、言われないと1週間ぐらい入らない時がある。
- ・洗顔、爪切り、鬚そりは指示しないとしようとししない。
- ・掃除は言われても部屋の真ん中だけ掃除機をかける程度。
- ・洗濯はできない。

##### (金銭管理と買物)

- ・小遣いは持っただけ直ぐ使ってしまうので、必要な分を必要な時に渡している。
- ・ネット販売などで無計画に注文してしまうことがある。
- ・同じ物や不必要な物を衝動的に買ってしまう。

##### (通院と服薬)

- ・薬の飲み忘れや誤飲があるため、毎回家族が確認している。
- ・医師に自分の病状を説明することができない。
- ・医師の指示を理解することができない。
- ・歯痛、腹痛など、体調が悪くなっても、周囲の人に上手く伝えられない。

#### （他人との意思伝達及び対人関係）

- 会話は一方的になりがちで、人の言うことは聞こうとしない。
- 同時に二つ以上の指示は飲み込めない。
- 掛かってきた電話に応答したり、慣れないところに電話することはできない。
- 近所の人に会っても挨拶できない。
- 友人関係が作れず、人の輪に入っていけない。
- ストレスが溜まっても言葉で伝えられず、急に激怒して大声を出したり、物に当たることがある。
- 初めての人に対しては過度に緊張する。

#### （身の安全保持及び危機対応）

- 非常時に 110 番や 119 番はできない。
- 戸締りや、ガス電気等の確認はよく忘れる。
- 普段と異なる事態になるとどうしていいかわからなくなり、固まってしまう。

#### （社会性）

- 役所や銀行に行って一人で手続きすることはできない。
- 公共交通機関は、慣れたところ以外は利用できない。
- 人の多い電車には乗れないので、通常の通勤時間帯に出退勤できない。
- 地域の行事や当番などは一切参加できない。

#### （その他）

- 感覚過敏があり、気に入らない音や臭い等に強い拒否反応を示す。
- 物事へのこだわりが強く、予定や環境の変化に適応するのに時間が掛かる。
- 些細なことがきっかけでフラッシュバックを起こし、ふさぎ込んでしまうことがある。

## 2. 就労状況（補足）

会社としては初めての障害者雇用ケースなので、様々な支援を検討してくれている。

本人は仕事の内容が変更されたりすると混乱し、理解に時間が掛かる。職場での対人関係面でもコミュニケーションがうまく取れないなどの課題が多いが、職場には専任の指導員が配置されており、その都度調整をしてもらっている。

また、長時間になると疲れてイライラしやすくなるので、特別に休憩時間を設けたり、休憩場所を整備したりしてくれている。

勤務時間についても融通が利くよう配慮してもらっている。

### 3. 福祉サービスの利用状況（補足）

周囲としては、外出時のガイドヘルパーや自立に向けたホームヘルパーの利用を考えた  
いところだが、本人が精神的に受け入れられないため、利用に至っていない。

住所 〒

氏名

印

年 月 日